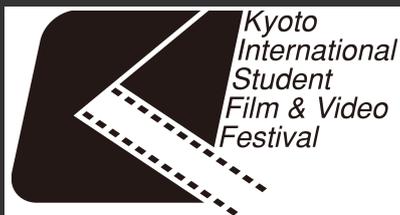


映画と僕らの交差点-高校生作品集- ～センバツ！十代の才能～



会場：京都シネマ

11月23日(日)19時から21時(予定)

入場無料

作品上映後には高校生作家と
実行委員のトークショーあり

「第7回春の高校放送フェスティバル in Kyoto」

入選作品5本を一挙上映！！

高校生が青春をかけた作品をご堪能ください。



京都府立東舞鶴高等学校

『少年少女、本を読み！～おいでませ図書室～』

私の通う東舞鶴高校の図書室には、およそ2万5千冊の本があります。その種類は多岐にわたり、私たちに多くの知識を与えてくれています。しかし、そんな図書室を利用する生徒はほんのわずか。普段は本を読まない生徒にも本を読んでもらおうと、先生がたのおすすめ本を紹介していきます。読書の楽しさとは？ 読書をするとうどんないいことがあるの？ このドキュメントを見て、少年少女、本を読み！

京都両洋高等学校

『骸の日』



死者の魂が集うとされる「骸の日」に神楽村に行くことになる。そこで主人公を待ち受けていたものは・・・その先に待っているのは生か死か・・・

同志社国際高等学校

『扇町仮設住宅を訪ねて～会津と福島県大熊町の人々～』



東日本大震災から2年が経った2013年3月、本校放送部は、福島県会津市に足を運んだ。同志社創立者の妻、新島八重が生まれ育った地を知りたいという思いと、会津にある扇町仮設住宅を取材したかったからだ。ここには大熊町から避難してこられた方々が生活している。私たちは仮設住宅に住んでおられる方と、仮にあてがわれた場所で仕事をする役場の方々からさまざまなお話を伺った。そして、もともと会津に住んでおられる方、大熊町から避難してこられた方々、それぞれの思いも知った。

京都府立桃山高等学校

『みんなともだち』



隣のクラスの少年なおとに恋をしている主人公ゆうか。眺めているだけで満足していたゆうかに、謎の人が声をかける。無事になおとと友達になることができたが、大嫌いな「大貫さん」となおとが付き合っていることを知る。徐々に狂い始めるゆうか。直接「大貫さん」に手をあげるが、最後は結局不幸になってしまう。

京都府立田辺高等学校

『風吹かば吹け～一休さんに学ぶ～』



近鉄・新田辺駅、そしてJR・京田辺駅の駅前には、なぜか一休さんの像が建てられている。実は京都府京田辺市は一休さんと深い関わりのある地域なのである。そんな京田辺市の田辺高等学校に通う私達は、地元の偉人である一休さんの生涯に注目した。京田辺市在住の古川さん、京田辺市役所の篠崎さん、そして酬恩庵の田邊和尚へのインタビューを通じて、一休さんの新たな一面を知ることができた。また彼の人生を通じて、私達は多くのことを学んだ。